

九看大のオープンキャンパスに行こう！

OPEN CAMPUS



オープンキャンパス

7.26 SUN **8.9** SUN

第一部 10:00~13:00 看護学科
第二部 13:00~16:00 社会福祉学科・リハビリテーション学科
鍼灸スポーツ学科・口腔保健学科

ミニオープンキャンパス

9.6 SUN

10:00~13:00(予定)

実施内容

大学・入試概要説明/学科体験コーナー/施設見学/個別相談など



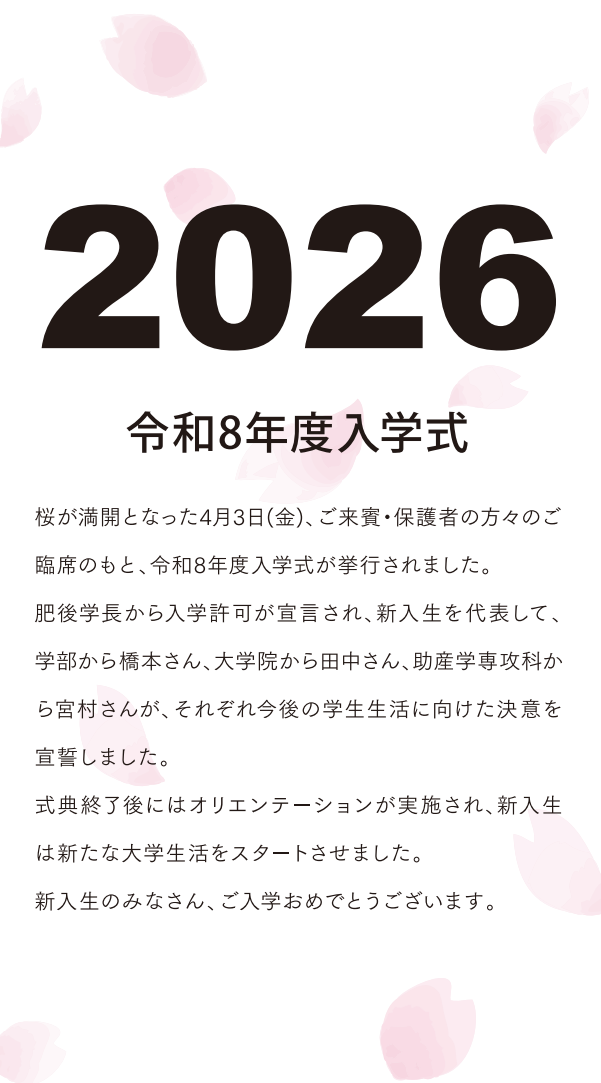
学報「ビッグハート」とは？

本誌タイトルは、「こころ豊かな看護と福祉」を目指す、本学の開学精神を表したシンボルマークに由来します。このシンボルマークは九州の形をしたハートの中心に本学が位置する熊本城北地域を卵型で描き、マーク全体で表す人の姿は、本学に集う「こころ」を持った若者たちを象徴しています。「ビッグハート」はそうした若者たちが本学で学ぶリアルな姿を伝えるキャンパスマガジンです。

九看大の『今』を伝えるキャンパスライフマガジン



学生自習室（本館1階）



桜が満開となった4月3日(金)、ご来賓・保護者の方々のご臨席のもと、令和8年度入学式が挙行されました。

肥後学長から入学許可が宣言され、新入生を代表して、学部から橋本さん、大学院から田中さん、助産学専攻科から宮村さんが、それぞれ今後の学生生活に向けた決意を宣誓しました。

式典終了後にはオリエンテーションが実施され、新入生は新たな大学生活をスタートさせました。

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。



新任教員のご紹介

2026年度から新たに九州看護福祉大学に着任された5人の先生方に、専門分野やその魅力、さらにプライベートの過ごし方についてお伺いしました。



看護学科
出崎 克也 教授

生理学や薬理学を中心とした基礎医学の講義を担当しています。また、医療人としての倫理観や責任感を身につけてもらえるよう、全力でサポートしてまいります。研究面では、長年にわたり糖代謝調節に関する研究に取り組んでおり、九州の豊かな食文化を楽しみながら健康的な生活について日々探求しています。



看護学科
吉田 佳代 専任講師

はじめまして。科目は助産学領域を担当しております。主に産後の助産ケアの講義・演習を行っています。臨床場面がイメージできるように、また即時に判断できる思考力が身につくような授業を心がけています。休日はピラティスと実家の猫(数匹)の世話をを行い、癒されています。



社会福祉学科
山川 知美 専任講師

教職課程と介護科目を担当します。看護師や養護教諭としての経験を基盤に、嗅覚を活用した健康支援、自律神経と心身の健康に関する研究に取り組んでいます。知識や技術の習得だけでなく、学ぶ楽しさや人を支える喜びを共に考えていきたいと思っています。中学生と小学生の二児の母です。休日は息子のサッカー応援に燃えています。



鍼灸スポーツ学科
村瀬 健太郎 准教授

こんにちは！はりきゅう理論や基礎実習、鍼灸臨床センター実習を担当しています。センターでは、実際の治療を通して、鍼の手技やお灸の効果、経穴(ツボ)の選び方を学生のみなさんと共に学んでいます。ただ技術を習得するだけでなく、心から患者さまに寄り添える鍼灸師の魅力を、ぜひ肌で感じてほしいと思います。みなさんの手で、誰かを笑顔にできる感動と一緒に分かち合いましょう！



口腔保健学科
廣岡 奈菜 助教

担当教科は、歯科衛生士にとって重要な分野の一つである歯科診療補助総論です。歯科診療や行政での経験を活かして、口腔から全身の健康を守り、その人の生活や人生に寄り添える歯科衛生士を一人でも多く育てたいと思っています。大切にしていることは「一期一会」。これからどんな出会いがあるのか、今から楽しみです！

イベントカレンダー

4月

- 入学式
- 新入生交流
- オリエンテーション(クラブ活動紹介など)
- 健康診断
- 履修登録
- 第1学期授業開始



5月

- 創立記念日



7月

- 第1学期授業終了
- 定期試験
- オープンキャンパス



8月

- 夏季休業
- オープンキャンパス

9月

- 追・再試験
- オリエンテーション
- 第2学期授業開始
- ミニオープンキャンパス



11月

- 学園祭「優愛祭」
- ホームカミングデー



12月

- 冬季休業



1月

- 第2学期授業終了
- 定期試験

2月

- 春季休業



3月

- 追・再試験
- 学位授与式・修了式
- ミニオープンキャンパス

本学Instagram ▶



学生生活やイベント情報を発信しています。



次代につなげる研究力

LABORATORY REPORT

研究紹介 Vol.05

口腔保健学科

中村 昌代 専任講師

PROFILE

略歴／医療法人伊東会伊東歯科口腔病院。
九州看護福祉大学精神保健学専攻修士
課程修了。九州看護福祉大学看護福祉学
部口腔保健学科専任講師。



【研究テーマ】

■歯科衛生士のジェンダー意識、
仕事価値観と職務継続意思および
支配管轄意識との関連

■緩和ケアにおける歯科衛生士の
口腔ケア介入の現状と課題

私は、歯科衛生士の専門職性について、社会的・歴史的な視点から捉え直す研究に関心を持っています。これまで十分に検討されてこなかった課題について理解を深めたいと考えています。加えて、緩和ケア領域における専門性や終末期支援に必要な能力、災害時の口腔保健支援のあり方についても研究を進めていきます。歯科衛生士がどのように考え、判断し、行動しているのかを明らかにします。



口腔ケアモデル

保健・医療・福祉をはじめ、
多様な領域で活躍できる力を育みます

この研究は、歯科衛生士が多様な場面で専門性を発揮し、より主体的に判断・実践できる職種として発展していくための基盤づくりにつながると考えています。特に、緩和ケア領域では、終末期の患者を「生きゆく人」として支える口腔ケアの意義を整理することで、多職種と協働できる歯科衛生士の育成に寄与すると考えています。また、災害時の口腔保健支援に関する検討は、避難所や被災地域で求められる支援の課題や必要なスキルを明らかにし、地域の減災や健康維持に貢献する可能性があります。これらの視点を教育現場に還元することで、学生が多様な領域で活躍できる力を育むための学びにつながると考えています。

生活と人生に寄り添い、
社会に貢献できる歯科衛生士へ

私の研究の中心には、「歯科衛生士は人々の生活と人生に寄り添う専門職である」という視点があります。緩和ケアや災害支援といった、これまで歯科衛生士教育で十分に扱われてこなかった領域において、口腔ケアが果たす役割は大きく、患者や地域の生活の質を支える重要な支援になると考えています。外部に向けて特に伝えたいポイントは、次の3点です。
(1)ジェンダーや専門職間の構造を踏まえ、歯科衛生士の専門性をどのように再考できるかを探る視点を持っていること。
(2)緩和ケアにおける「生きゆく人」に寄り添う口腔ケアの価値を、教育や実践に生かせる形で整理しようとしていること。
(3)災害時の口腔保健支援を体系的に捉え、地域の健康や生活再建に貢献できる可能性を示していること。
これらを発信することで、歯科衛生士がより広い領域で専門性を発揮し、社会に貢献できる未来を描いていきたいと考えています。

次代につなげる研究力

LABORATORY REPORT

研究紹介 Vol.06

基礎・教養教育研究センター

村上 香 教授

PROFILE

略歴／九州大学農学部農芸化学科卒業、九州大学大学院農学研究科農芸化学専攻修士課程修了。福岡女子大学人間環境学部栄養健康科学科 助手、博士(農学)(九州大学)取得。広島工業大学生命学部食品生命科学科 准教授。九州看護福祉大学基礎・教養教育研究センター 教授。



【研究テーマ】

■食品成分の生理機能

■食品素材の活用

私たちの体は日々の食事によってつくられており、食べることは健康を支える基本であると考えています。現在、主に研究対象としているのが、南アフリカ原産のハーブティーであるルイボスティーと、九州沿岸に生育する海藻アカモクです。ルイボスティーはルイボス特有の抗酸化能を持つポリフェノールを豊富に含んでいるノンカフェイン飲料であり、健康維持への効果が期待されています。一方アカモクは、ねばねば成分(粘質多糖類)を豊富に含む海藻で、近年、食後の悪玉コレステロール上昇抑制や腸内環境の改善などの機能性が注目されています。ルイボスティーやアカモクなどの食品素材に含まれる成分が、体内でどのような働きをするのかを科学的に解明するとともに、健康づくりに生かす研究を行っています。



左：非発酵型グリーンルイボスティー
右：発酵型ルイボスティー

食品の持つ力を科学的に分析、研究し、
食品開発や普及活動で地域の活性化にも貢献します

私の研究は、食品の持つ力を科学的に分析し、人々の健康維持・増進に役立てることを目指しています。これまでに、ルイボスティーを紫外線の強い夏場などの室外活動時に飲むことによって、体内の酸化ストレスによるDNAの損傷を抑制することを確認しました。また、アカモクについては、豊富な食物繊維(粘質多糖類)やミネラルに着目し、腸内環境の改善や血中コレステロール、血糖値上昇抑制などの機能性の研究を進めてきました。現在は、熊本の海で生育するアカモクを地域資源として有効活用するべく地元企業と協力して、地域の方々の健康につなげる研究を計画中です。

毎日おいしく食べられて健康につながる、
グローバルな研究を行っています

さらに、私は「おいしくて、健康に」を目標に研究しています。ルイボスティーやアカモクは、特別な薬ではなく、毎日の暮らしの中で気軽に取り入れられる身近な食べ物です。だからこそ、本当に健康に役立つのかを科学的に確かめ、その成果を分かりやすく伝えることも、研究者として大切な役割だと考えています。例えば、南アフリカで親しまれてきたルイボスティーを日本の生活に生かしたり、日本の地域資源であるアカモクの価値を世界に発信したりすることも、その一つです。地域性を大切にしながら世界的な視点で新たな価値を生み出す「グローバル」という考え方のもと、おいしい食品の健康維持・増進に役立つ食品の機能を科学的に明らかにし、毎日の食生活をより豊かにすることを目指して研究を続けています。

九州看護福祉大学は、 令和9年4月からの“公立化”を進めています。

(準備中)

本学は、平成10年4月「公設民営の大学」として開学以来、これまで8,500名を超える人材を輩出し、玉名・荒尾地域をはじめとした、熊本県内や九州地域の保健・医療・福祉の発展に大きく貢献してきました。将来にわたってこの役割を果たすため、公立化によって、これまで以上に大学ブランド力の向上を図り、学生・研究者・地域に選ばれる大学として、地域とともに成長する大学の実現を目指します。

公立化することによって学生のみなさんが得られるメリットは？



より密な距離で 地域と連携

公立化により、玉名市との連携が強化されることで、これまで以上に地域と密接に連携した地域貢献が可能になります。



学び・研究力が さらにアップ

教育課程の改編や、教育方法等の改善を図り、国家試験合格率の向上を目指します。研究者の研究環境を整備し、大学の人的・知的財産を活用し、教育に還元します。



経済面の 負担が軽減

公立化により学費負担が軽減。経済的な理由で学びの機会を失うことなく、安心して学業に専念できます。

「公立化」に関する詳しい情報は、随時大学ホームページに掲載していきます。

公立化で九州看護福祉大学がどう変わるのか、学びの内容や教育環境、学費についてなど、これから随時情報を発信していきますので、ぜひ本学ホームページをチェックしてください。



NEWS LETTER

KNSの活動をまとめて紹介！



学生自習室リニューアルのお知らせ ～多様な学びを支える新たな空間へ～

2026年4月、学生のみなさんにとってより快適で使いやすい学習環境を目指し、学生自習室をリニューアルしました。今回のリニューアルは、事前に実施した学生との意見交換会やアンケートの結果を反映したもので、「明るくてカフェのようなおしゃれな空間」「用途ごとに使い分けができて便利」といった声が寄せられています。

室内には、集中して学習に取り組める個別ブースをはじめ、リラックスして会話ができるソファ席、落ち着いて読書ができる閲覧スペース、グループで困って話し合いができるテーブル席など、多様な利用シーンに対応できるよう整備しました。また、ボランティアやアルバイト情報を掲示するスペースも設け、学習のみならず学生生活全般を支援する場としての機能もあわせもっています。

新しく生まれ変わった自習室を、日々の学びや交流の場として、積極にご活用ください。

助産学専攻科10期生の先輩との交流会を行いました

2026年5月16日(土)、本学助産学専攻科を修了された10期生の先輩お2人が、12期生との交流会にご参加くださいました。先輩方が、講義や課題への取り組み方、日々の学習の工夫、困難をどのように乗り越えてきたかなどを実際の経験をもとに具体的にお話してくださり、今後の学生生活のイメージをさらに深めることができました。また、5月は課題や演習、技術練習、就職活動などさまざまなことが重なり、焦りや不安を感じる時期でもありました。そのような中で、「みんな同じように悩みながら頑張っていたよ」という言葉をかけていただき、自分だけが不安を抱えているわけではないとすることができ、気持ちが軽くなりました。年齢の近い先輩方だからこそ話やすく、私たちに近い視点でアドバイスをいただけたことがとても心強かったです。

今回の交流会でお話いただいたことを今後の学びや実習に活かし、12期生10人で支え合いながら成長していきたいと思います。お忙しい中、貴重なお時間を作ってくださった先輩方、ありがとうございました。



看護学科1年生交流会

看護学科1年生134名と担任教員7名が参加し、入学後初の交流会を開催しました。くじ引きで編成された23グループでは「他己紹介ゲーム」で互いの出身地や大学の印象を語り合い、和やかな雰囲気が生まれました。続く「ペーパータワーゲーム」では協力して新聞紙を積み上げ、2メートルの塔を完成させたチームが優勝。最後は玉名銘菓とお茶を囲み、親睦を深めるひとときとなりました。このグループは今後のHR活動の基盤となります。学生生活を支えるつながりへと発展していくことを願っています。



リハビリテーション学科1年生 スポーツ交流会

リハビリテーション学科1年生を対象に、スポーツ活動を通じた交流会を実施しました。普段は関わる機会が少ない学生同士も、バレーボールやドッジボールを通じて積極的にコミュニケーションを図り、楽しむ姿が印象的でした。今回の交流をきっかけに、今後の学生生活がより充実したものになることを願っています。



令和7年度自己点検・評価報告書を公表しました

毎年度、本学の教育、研究、社会貢献及び大学運営等の諸活動について自己点検・自己評価を行っています。また、その結果を踏まえて改善を行い、大学全体の内部質保証の向上に取り組んでいます。本年6月、本学ホームページで「令和7年度自己点検・評価報告書」を公表しました。

令和7年度自己点検・
評価報告書はこちら

